

SRハイマット

近年の住宅は、特に住まいの快適性を追求している点が大きなセールスポイントになっています。例えば住宅の高気密・高断熱性をはじめ、バス・トイレ・キッチンなどのサニタリー商品もそのイメージアップされたデザインに高機能性を付加するなど快適性を追求した商品がいまや標準装備されるほどになりました。しかし、これは床につきましても例外ではなく、今までの防音機能に加え、程よい硬さで歩きやすく、また転倒時の衝突安全性が付加された高性能な床が求められています。

SRハイマットはこうしたニーズに十分応えることができる防音下地材です。

1. 防音性能

SRハイマットを用いると、音響性能でワンクラス上の防音床に仕上げることが可能です。

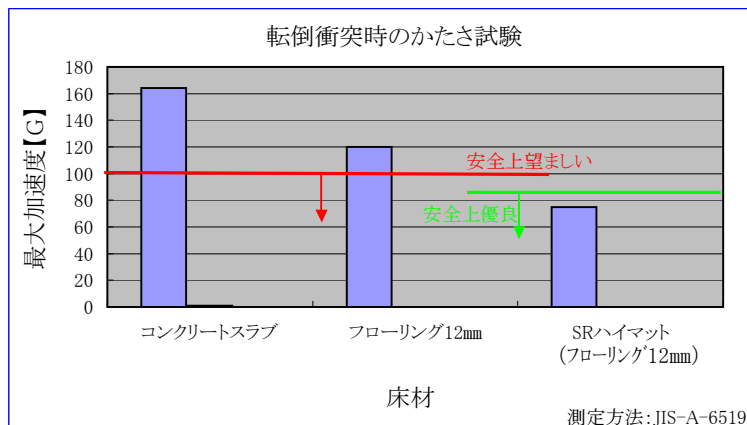
周波数(Hz)	軽量床衝撃音改善量【dB】
125	5.6
250	4.7
500	5.2
1000	6.7
2000	5.7
4000	11.7

上階から聞こえてくる「飛び跳ねる音」「走り回る音」「何か落としたときの音」などの床衝撃音は住居内で発生する音の苦情の内、戸建て住宅でも10%を占めていますが、これが集合住宅となりますと約70%にまで上昇するため、著しい床衝撃音はトラブルの元凶といっても過言ではありません。SRハイマットはこうした音問題の解決に大きく役立ちます。

2. 快適性と安全性の融合

SRハイマットを用いると快適性と転倒から体を守る安全性を両立させることができます。

SRハイマットの持つ多層緩衝層によって、硬すぎず柔らかすぎない適度な踏み心地と軽快な歩行感が得られる床に仕上げることができます。また、SRハイマットのクッション効果により転倒時の衝撃を緩和させることができます。



SRハイマットを下地に用いた場合、転倒衝突時の最大加速度【G】は一般的な12mmのフローリングを使用した場合でも約75Gに抑えられ、安全性の高い床に仕上げることができます。JIS-A-6519(体育館用鋼製床下地構成材)では安全性の観点から「100G以下が望ましい」ということが明記されており、85G以下の床は優良とされています。

3. 安心素材

SRハイマットはポリエステル繊維を用いた安全材料でできていますので、室内空気を汚染することがありません。

SRハイマットではポリエステル素材といった安全素材を使用し、また接着剤、粘着剤等も全く使用しておりませんので、ホルムアルデヒド放散量は新JAS基準最高等級(F☆☆☆☆)クラスに抑えられています。

新JAS基準

表示記号	ホルムアルデヒド放散値(平均/最大)	使用される面積の制限
F☆☆☆☆	平均0.3mg/㎡、最大0.4mg/㎡	面積制限なし。
F☆☆☆	平均0.5mg/㎡、最大0.7mg/㎡	居室の換気、換気回数によって使用できる面積が制限されます。
F☆☆	平均1.5mg/㎡、最大2.1mg/㎡	居室の換気、換気回数によって使用できる面積が制限されます。
-	平均5.0mg/㎡、最大7.0mg/㎡	使用禁止。

4. 優れた施工性

SRハイマットは非常に軽量で持ち運びがしやすく、施工も敷き並べるだけでするので非常に簡単です。

SRハイマットは重量が500g/㎡と非常に軽量で、ハンドリング性に優れており、また切断もカッター等で容易に行える為、施工現場での取り扱い性が優れています。